01 | アイペット損害保険とは

沿革

当社は、2004年に設立され、2024年5月に設立20周年を迎えました。
当社が提供しているペット保険には、ペットを家族の一員として暮らしているお客さまが、もしもの時でも安心して「うちの子」に治療を受けていただくことができるように、との想いが込められています。
ペットと人とが共に健やかに暮らせる社会を目指し、更なる歩みを進めてまいります。

2004年	5月	当社の母体となる会社を設立
2006年	6月	特定保険業者として関東財務局へ届出
	11月	青森事務センター稼働開始
2008年	2月	株式会社アイペットへ社名変更
	3月	少額短期保険業者として登録
	4月	ペット医療費用保険「うちの子」「うちの子プラス」販売開始
2010年	2月	ペット手術費用保険「うちの子ライト」販売開始
2011年	12月	保有契約件数10万件突破
2012年	3月	損害保険業免許取得、アイペット損害保険株式会社へ社名変更
2014年	5月	設立10周年
2017年	3月	保有契約件数30万件突破
	4月	ペット医療費用保険「うちの子キュート」販売開始
2018年	4月	東京証券取引所マザーズ市場上場
2019年	10月	青森県と動物愛護に関する連携協定締結
2020年	2月	アイペット対応動物病院5,000施設突破
	3月	保有契約件数50万件突破
	10月	アイペットホールディングス株式会社を設立 アイペットホールディングス株式会社が東京証券取引所マザーズ市場*へ上場 *アイペット損害保険株式会社は上場廃止 ペッツファースト少額短期保険株式会社を子会社化
2021年	5月	保険料改定を含めた商品改定を実施
2022年	6月	本社を江東区豊洲に移転
	10月	ペッツファースト少額短期保険株式会社を吸収合併
2023年	3月	親会社であるアイペットホールディングス株式会社が第一生命ホールディングス株式会社の100%子会社となったことにより、当社は第一生命ホールディングス株式会社と100%の資本関係を持つ連結対象グループ会社となる
2024年	5月	設立20周年
	6月	アイペットホールディングス株式会社を吸収合併
	10月	ブランドメッセージ制定 「わたしたちの行動規範」制定
2025年		

当社の商品・サービス

当社では、お客さまのニーズに合わせた幅広い商品をご用意しています。

商　品	対象動物	通院	入院	手術	特　長
うちの子プラス [新生児用新規契約に係る特別補償期間設定特約付ペット医療費用保険]	犬・猫	○	○	○	窓口精算対応商品 *1　ペットショップ代理店限定商品 ・通院から入院・手術まで幅広く補償 ・体調を崩しがちな飼い始め1か月以内に生じた傷病は診療費の最大100%を補償 ・2か月目からは70%プラン、50%プランの2種類のプランから選択可能
うちの子 [ペット医療費用保険]	犬・猫	○	○	○	窓口精算対応商品 ・通院から入院・手術まで幅広く補償 ・70%プラン、50%プランの2種類のプランから選択可能
うちの子Lightライト [ペット手術費用保険]	犬・猫	—	△ (手術を含む連続した入院)	○	・高額になりがちな手術費用に特化 ・お手頃な保険料で手術費用の90%を補償(手術1回あたり最高50万円、年間2回まで) ・手術と連続した入院費用も手術1回につき10日まで補償
うちの子Cuteキュート [ペット医療費用保険]	当社指定のエキゾチックアニマル*2	○	○	○	窓口精算対応商品　ペットショップ代理店限定商品 ・通院から入院・手術まで幅広く補償 ・70%プラン、50%プラン、30%プランの3種類のプランから選択可能

保険金は、支払限度額・支払限度日数(回数)等の補償範囲内でお支払いします。
「窓口精算対応商品」は、面倒な保険金請求が不要なアイペット対応動物病院制度をご利用いただけます。(詳細は、P10の「アイペット対応動物病院制度」をご覧ください。)
＊1 窓口精算は加入後2か月目からとなります。
＊2 うさぎ、フェレット、鳥、ハリネズミ、モモンガ、リス、ハムスター、ネズミ、モルモット、トカゲ、カメなど

ペット賠償責任特約(オプション)

被保険者さまが管理している犬または猫が他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして、被保険者さまが法律上の賠償責任を負ったときに損害賠償金や訴訟費用・弁護士報酬等をお支払いする特約です。追加保険料をお支払いいただくことによって付帯することができます。

※うちの子キュートは除きます。

多頭割引

同一のご契約者さまが複数の当社商品をご契約いただいた場合、「多頭割引」が適用されます。

※これらは各商品の概要になります。詳しくは各商品のパンフレットまたは当社ホームページをご覧ください。

当社ホームページ
https://www.ipet-ins.com/

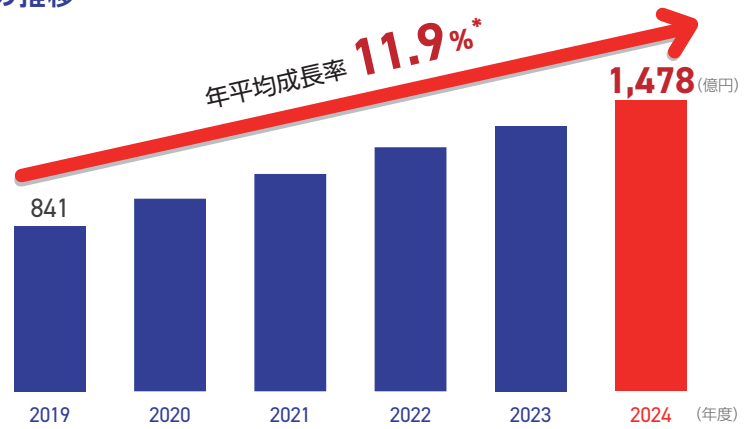
お客さま第一の業務運営方針
https://www.ipet-ins.com/company/ipet/cs_first.html

ペット保険市場について

市場規模

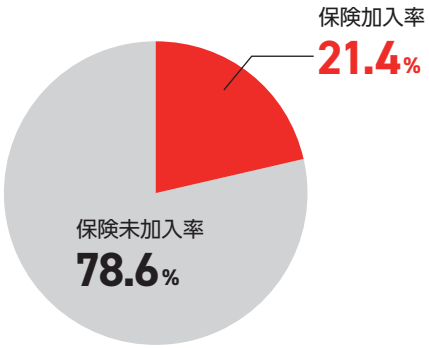
ペット保険市場は毎年成長を遂げており、2024年度には1,478億円まで拡大しています。今後も、ペットの家族化や動物医療の発展によりペット保険の需要が高まっていくことが予想されます。

ペット保険市場規模の推移



＊2019年度から2024年度までの年平均成長率(CAGR)
出典:日本損害保険協会、日本少額短期保険協会公表数値合算

日本のペット保険加入率

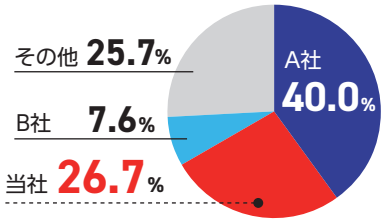


※2024年時点
出典:株式会社富士経済「2025年ペット関連市場マーケティング総覧」【2024年(2023年12月末時点)のペット保険保有契約数3,408,100件】、一般社団法人ペットフード協会「令和6年全国犬猫飼育実態調査」【犬猫飼育頭数15,951千頭】を基に当社で算出

ペット保険マーケットシェア

ペット保険業界は、当社を含む上位2社でマーケットの6割以上を占めています。

収入保険料ベース*



＊2024年度
出典:日本損害保険協会、日本少額短期保険協会ならびに各社公表数値より算出

犬・猫の飼育頭数

2025年4月1日現在、日本の15歳未満の子どもの数は1,366万人。これに対して犬・猫の飼育頭数は1,595万頭と推計されており、ペットの家族化は今後も進展するものと思われます。

15歳未満の子どもの数

1,366万人

犬・猫の飼育頭数

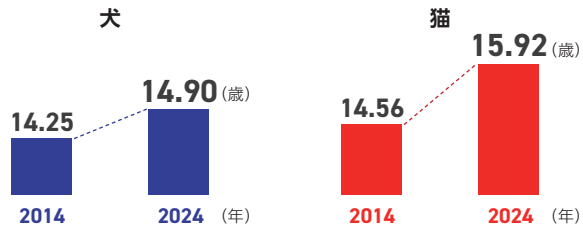
犬:679.6万頭　猫:915.5万頭　**1,595万頭**

出典:総務省統計局「人口推計」
一般社団法人ペットフード協会「令和6年　全国犬猫飼育実態調査」

犬・猫の平均寿命

2024年の犬の平均寿命は14.90歳、猫の平均寿命は15.92歳となっています。

どちらも10年前の平均寿命より延びており、長寿化傾向がみられます。



出典:一般社団法人ペットフード協会「令和6年　全国犬猫飼育実態調査」

ペット医療の現状

ヒトの場合		ペット（動物病院）の場合
診療報酬点数制度	▶	自由診療
3割*負担（健康保険制度）	▶	全額自己負担

＊6歳～69歳と70歳以上の一定額以上の所得者の場合

保険金請求が多い傷病のランキング（総合*）

犬

順位	傷病名
1	皮膚炎
2	異物誤飲
3	腫瘍
4	下痢
5	外耳炎

猫

順位	傷病名
1	下痢
2	腎臓病
3	腫瘍
4	異物誤飲
5	心臓病

＊通院、入院、手術を総合した保険金請求数
※2024年1月～12月の当社の保険金請求データを基にしたサンプル調査により算出

保険金請求が多い傷病のランキング（手術）

犬・猫

順位	傷病名
1	腫瘍
2	歯周病
3	異物誤飲
4	膝蓋骨脱臼
5	骨折

※2024年1月～12月の当社の保険金請求データを基にしたサンプル調査により算出

手術の平均保険金請求額

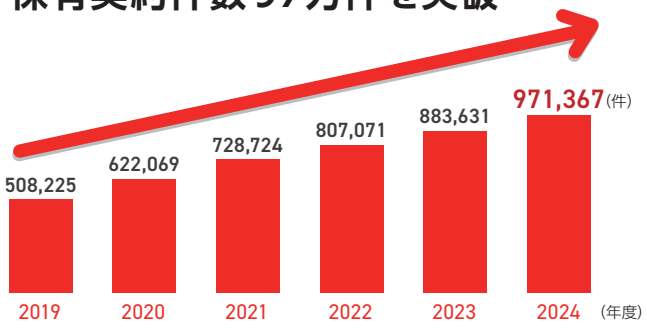
約19万円

※2024年1月～12月の当社の「うちの子ライト」契約における保険金請求データを基にしたサンプル調査により算出
※この金額は診療費の一般的な水準を示すものではありません。

2024年度の現況

多くのお客さまに当社のペット保険をご利用いただいており、保有契約件数および収入保険料は順調に推移し、これに伴い保険金支払金額も増加しております。また、アイペット対応動物病院制度にご協力いただける動物病院も増えています。

1 保有契約件数97万件を突破

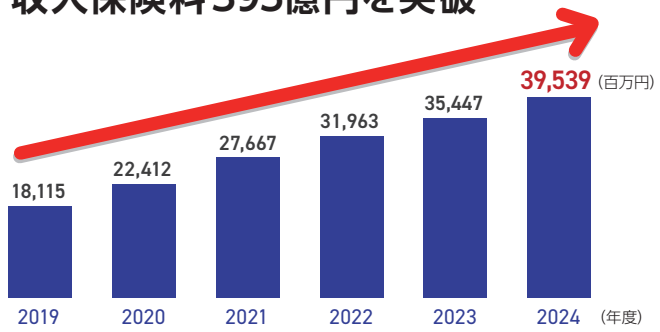


保有契約件数増加率

+9.9%

(2024年度、前年度比)

2 収入保険料395億円を突破

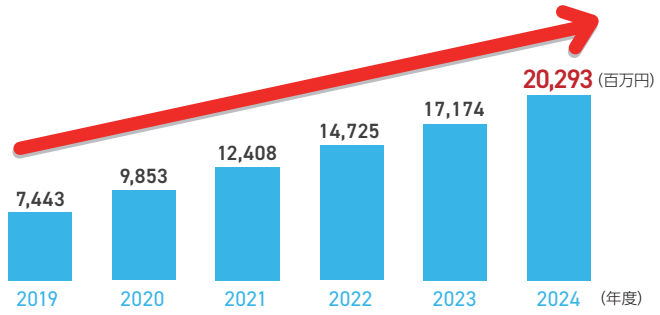


収入保険料増加率

+11.5%

(2024年度、前年度比)

3 保険金支払金額202億円を突破



保険金支払金額増加率

+18.2%

(2024年度、前年度比)

4 アイペット対応動物病院数6,000施設を突破

アイペット対応動物病院とは、診療費のお支払い時に当社発行の保険証またはマイページ画面を提示することにより、その場でお客さまご負担分のみのお支払いとなる動物病院をいいます(詳細は、P10の「アイペット対応動物病院制度」をご覧ください)。

アイペット対応動物病院数

6,090施設

2025年3月31日現在

アイペット対応動物病院制度

当社が提携している動物病院（以下、アイペット対応動物病院）で受診された場合、病院窓口で当社発行の保険証またはマイページ画面をご提示いただきます。保険契約の有効性が確認できた場合には、その場でお客さまご負担分のみのお支払いとなり、後日お客さまから当社に保険金請求をしていただく必要はありません。

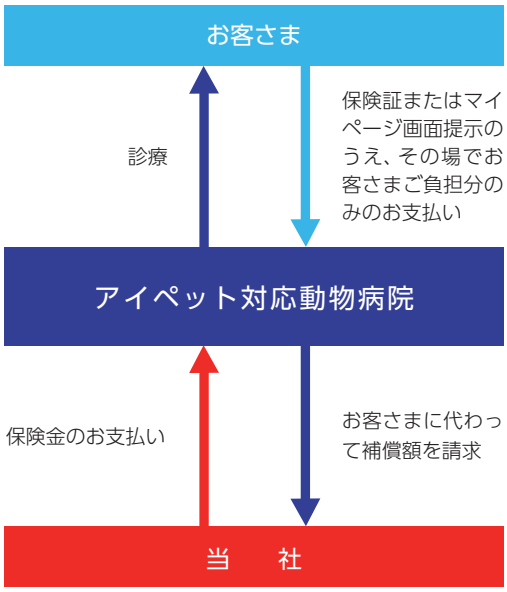
例えば、ペット保険「うちの子」70%プランに加入され、診療費が1万円かかり、全額補償の対象の場合、お客さまが病院窓口でお支払いいただく金額は3千円となります。

本制度をご利用いただくことで、お客さまの保険金請求のご負担がなくなるだけでなく、病院窓口で直接お支払いいただく金額が減ることになります。突然の高額な出費にも、診療費の負担感を軽減し、安心して最善の治療を受けていただきやすくなります。

2025年3月31日現在、アイペット対応動物病院は6,090施設あり、今後も更なる拡大を進めてまいります。

※ペット保険「うちの子ライト」およびペット保険「うちの子プラス」の100%補償期間（第1保険期間）は本制度の対象外となりますので、お客さまより直接当社への保険金請求が必要になります。

アイペット対応動物病院で診療を受ける場合



アイペット対応動物病院数

全国 **6,090施設**（2025年3月31日現在）

アイペット対応動物病院 ipet

対応動物病院はこのステッカーが目印です

当社発行の保険証

マイページ画面

保険金のお支払い方法に関する詳細はP17～18「保険金のお支払い」をご覧ください。

アイペット対応動物病院検索　全国6,090施設（2025年3月31日現在）アイペット対応動物病院検索ページをご用意しております。 https://www.ipetclub.jp/vh/

アイペット対応動物病院へのご推薦・お申込みをご希望の場合

当社ホームページに掲載している所定のフォームより、ご契約者さま、動物病院ご関係者さまいずれからもご推薦またはお申込みをしていただけます。

※動物病院さまの状況によりご要望に沿えない場合がございます。

アイペット対応動物病院推薦フォーム（ご契約者さま向け）
https://www.ipet-ins.com/contact/hosp-recommend/

アイペット対応動物病院申込みフォーム（動物病院さま向け）
https://www.ipet-ins.com/contact/hosp-apply/

代表的な経営指標

（単位：百万円）

指　　標	2022年度	2023年度	2024年度
正味収入保険料	31,963	35,447	39,539
正味損害率	49.9%	52.1%	55.1%
正味事業費率	38.0%	36.8%	35.8%
コンバインド・レシオ	87.9%	88.9%	91.0%
保険引受利益	1,070	1,702	1,554
経常利益	1,292	1,794	1,616
当期純利益	1,134	1,057	1,360
単体ソルベンシー・マージン比率	272.9%	290.9%	300.5%
総資産額	26,353	29,272	32,051
純資産額	6,359	7,394	8,356
その他有価証券評価差額金	△13	△35	△151
不良債権の状況（保険業法に基づく債権）	—	—	—

経営指標の解説

正味収入保険料

ご契約者さまから収受した保険料（元受保険料）および受再保険料から、出再保険料・返戻金を控除し、さらに積立保険に係る積立保険料を控除したものです。

正味損害率

正味収入保険料に対する支払った保険金の割合のことであり、損益計算書上の正味支払保険金に損害調査費を加えて、正味収入保険料で除した割合です。

正味事業費率

損益計算書上の諸手数料および集金費に営業費および一般管理費のうち保険引受に係る金額（保険引受に係る営業費および一般管理費）を加えて、正味収入保険料で除した割合です。

コンバインド・レシオ

正味損害率と正味事業費率の合算率で、損害保険会社の保険本業での収益力を示す指標です。一般的にこの指標が低いほど収益性が高いといわれています。

保険引受利益

正味収入保険料等の保険引受収益から、正味支払保険金・損害調査費・満期返戻金等の保険引受費用と保険引受に係る営業費および一般管理費を控除し、保険引受に係るその他収支を加減したものです。

経常利益

正味収入保険料・利息および配当金収入等の経常収益から、正味支払保険金・営業費および一般管理費等の経常費用を控除したものです。

当期純利益

経常利益に固定資産処分損益や価格変動準備金繰入額等の特別損益・法人税および住民税・法人税等調整額を加減したものです。

単体ソルベンシー・マージン比率

巨大災害の発生や保有資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険に対する資本金・準備金等の支払余力の割合をいいます。通常200％以上あれば保険金等の支払能力の充実の状況が適当であるとされています。

総資産額

会社が保有する資産の合計であり、損害保険会社の資産規模を示すものです。

純資産額

保有する資産の合計である総資産から、責任準備金等の負債を控除したものであり、貸借対照表上の純資産の部合計です。

その他有価証券評価差額金

その他有価証券の時価と取得原価の差額（いわゆる含み損益）から法人税等相当額を控除したものです。

不良債権の状況（保険業法に基づく債権）

貸付金のうち、保険業法施行規則第59条の2第1項第5号ロに基づき開示している不良債権額です。